

市民一人当たり 42万円を支出

成田市の家計簿ともいえる平成20年度の各会計の決算がまとまりました。
“生涯を完結できるまちづくり”に向けて、さまざまな事業が行われました。
各会計の決算の概要は次の通りです。

一般会計は 19億6,846万円の黒字

平成20年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が579億1,997万円、歳出では533億5,499万円(市民一人当たり425,383円)で、差し引きは45億6,498万円でした。この中には、平成21年度に繰り越すべき財源として25億9,652万円が含まれていますので、平成20年度の実質収支は19億6,846万円でした。

一般会計決算

歳入(収入) 579億1,997万円

| | 平成20年度決算 | 構成比 |
|----------|-------------|--------|
| 市税 | 3,309,462万円 | 57.1% |
| 内訳 | | |
| 固定資産税 | 1,872,562万円 | |
| 市民税 | 1,294,260万円 | |
| 市たばこ税 | 104,524万円 | |
| 特別土地保有税 | 1,611万円 | |
| 都市計画税 | 19,894万円 | |
| その他市税 | 16,611万円 | |
| 地方譲与税 | 55,331万円 | 1.0% |
| 地方消費税交付金 | 159,035万円 | 2.8% |
| 地方交付税 | 213,451万円 | 3.7% |
| 分担金及び負担金 | 142,115万円 | 2.5% |
| 使用料及び手数料 | 85,729万円 | 1.5% |
| 国庫支出金 | 748,658万円 | 12.9% |
| 県支出金 | 175,743万円 | 3.0% |
| 繰入金 | 13,113万円 | 0.2% |
| 繰越金 | 221,607万円 | 3.8% |
| 諸収入 | 267,783万円 | 4.6% |
| 市債 | 279,920万円 | 4.8% |
| その他 | 120,050万円 | 2.1% |
| 合計 | 5,791,997万円 | 100.0% |

歳出(支出) 533億5,499万円

| | 平成20年度決算 | 構成比 |
|--------|-------------|--------|
| 総務費 | 1,214,792万円 | 22.8% |
| 民生費 | 1,262,544万円 | 23.6% |
| 衛生費 | 503,860万円 | 9.4% |
| 農林水産業費 | 138,729万円 | 2.6% |
| 商工費 | 152,565万円 | 2.9% |
| 土木費 | 700,533万円 | 13.1% |
| 消防費 | 280,701万円 | 5.3% |
| 教育費 | 618,055万円 | 11.6% |
| 公債費 | 419,418万円 | 7.9% |
| その他 | 44,302万円 | 0.8% |
| 合計 | 5,335,499万円 | 100.0% |

市有財産の状況

| 区分 | 平成21年3月31日現在 |
|----|--------------|
| 土地 | 412万9,015㎡ |
| 建物 | 39万7,962㎡ |
| 車両 | 324台 |
| 基金 | 216億6,182万円 |

特別会計決算

| 会計名 | 歳入(収入) | 歳出(支出) |
|--------------|-------------|-------------|
| 国民健康保険(事業勘定) | 105億 259万円 | 102億5,828万円 |
| 国民健康保険(施設勘定) | 1億7,292万円 | 1億5,467万円 |
| 下水道事業 | 21億1,768万円 | 20億5,402万円 |
| 公設地方卸売市場 | 2億7,757万円 | 2億6,621万円 |
| 老人保健 | 6億8,569万円 | 6億8,401万円 |
| 介護保険 | 40億8,005万円 | 38億9,411万円 |
| 農業集落排水事業 | 3億2,538万円 | 3億2,010万円 |
| 後期高齢者医療 | 6億5,358万円 | 6億4,534万円 |
| 合計 | 188億1,546万円 | 182億7,674万円 |

このような事業に使われました

【各決算額】÷【平成21年3月末人口・125,428人】

商工費 12,164円



中小企業資金融資事業—中小企業の利子補給を行うなど資金調達の円滑化を支援

公債費 33,439円

農林水産業費

11,060円

水田農業構造改革対策事業—生産性の高い自立した水田農業の確立を支援



その他 3,532円

消防費 22,379円



公津分署整備事業—平成21年4月、公津の杜地区を主な管轄とする赤坂消防署公津分署を開署

民生費 100,659円



小学生医療費助成事業—小学生の入通院の医療費を助成

衛生費 40,171円



リサイクルプラザ維持管理運営事業—ごみの減量化・再資源化・リサイクル活動を支援

教育費 49,276円



英語科研究開発事業—児童・生徒の実践的コミュニケーション能力を育成

土木費 55,851円

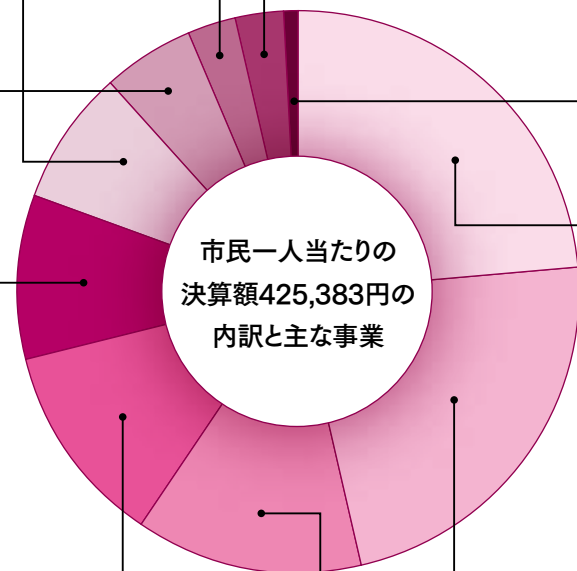


中台運動公園整備事業—球技場の芝を人工芝に整備

総務費 96,852円



成田新高速鉄道アクセス事業—平成22年度開業に向け、用地購入費や鉄道建設経費を補助



水道事業会計決算

| 区分 | 収入 | 支出 |
|-------|------------|------------|
| 収益的収支 | 19億1,875万円 | 17億2,563万円 |
| 資本的収支 | 10億 80万円 | 17億9,888万円 |

収益的収支は、水道料金を主な収入として事業を行い、平成20年度は1億5,361万円の純利益を得ました(純利益は、消費税を除いた額で計算しますので上表の決算額の差し引きとは一致しません)。

資本的収支は、配水管の敷設や改良事業での収支を示すもので、一般会計における長期借入金に当たる企業債を主な収入として事業を行い、差し引き7億9,808万円の不足額は、内部留保資金などを充てました。

今後も老朽管の敷設替えなど多額の資金需要が見込まれますが、効率的な財政運営に努めるとともに、安全な水を安定して届けます。

簡易水道事業特別会計決算

| 区分 | 収入 | 支出 |
|-------|-----------|-----------|
| 収益的収支 | 2億5,943万円 | 2億5,630万円 |
| 資本的収支 | 2億2,190万円 | 2億7,861万円 |

市債の状況

| 区分 | | 平成21年3月31日現在 |
|------------|-----------|--------------|
| 一般会計 | 土木債 | 115億 908万円 |
| | 教育債 | 70億1,430万円 |
| | 総務債 | 72億3,072万円 |
| | 衛生債 | 29億5,856万円 |
| | 民生債 | 19億8,949万円 |
| | 消防債 | 10億2,125万円 |
| | 農林水産業債 | 2億3,626万円 |
| | 災害復旧債 | 278万円 |
| | その他 | 79億9,618万円 |
| | 計 | 399億5,862万円 |
| 特別会計 | 下水道事業債 | 86億7,354万円 |
| | 農業集落排水事業債 | 18億 317万円 |
| | 市場事業債 | 2,852万円 |
| | 計 | 105億 523万円 |
| 水道事業会計 | | 86億2,917万円 |
| 簡易水道事業特別会計 | | 27億3,057万円 |

健全な財政運営を維持

市の財政状況を表す主な指標に

経常収支比率、公債費負担比率、

財政力指数があります。

財政構造の弾力性を示す指標

である経常収支比率は、80%を下

回っていて良好といえます。

財政力の強弱を示す目安となる

財政力指数は、全国平均と比べて

も依然として高い水準です。

経常収支比率

収入に対して人件費や扶助費な

ど、毎年必ず出ていくお金がどの

くらいの割合になっているかを示

す値です。

通常、80%を超える場合には、

財政が弾力性を失いつつあると考

えられています。

公債費負担比率

一般財源総額のうち、

公債費に使われた割合で

す。この比率が高いほど

借入金返済のための経費

が多いことを表していま

す。

財政力指数

地方公共団体の財政力

を示す指標で、この数値

が大きいほど財政力が

強いと見ることができ、

「1」以上の団体は、き

わめて財政力の強い団体

と考えられています。

※くわしくは財政課(☎

20-15112)へ。



開業を平成22年度に控える成田新高速鉄道

財政状況を表す主な指標

| 区分 | 経常収支比率 | | | | 公債費負担比率 | | | | 財政力指数 | | | |
|----|--------|------|------|------|---------|------|------|------|-------|-------|------|-------|
| | 本市 | 増減 | 全国平均 | 県内平均 | 本市 | 増減 | 全国平均 | 県内平均 | 本市 | 増減 | 全国平均 | 県内平均 |
| 20 | 74.4 | ▲6.5 | — | — | 8.2 | ▲2.4 | — | — | 1.544 | 0.051 | — | — |
| 19 | 80.9 | 1.2 | 92.1 | 92.5 | 10.6 | 0.7 | 17.0 | 13.7 | 1.493 | 0.029 | 0.66 | 0.909 |
| 18 | 79.7 | 4.8 | 90.5 | 90.5 | 9.9 | 0.8 | 16.6 | 13.2 | 1.464 | 0.083 | 0.65 | 0.891 |

- ・平成20年度の全国・県内平均については、現在集計中のため空欄となっています。
- ・全国平均は平成18年度が691市の平均、19年度が687市の平均で、総務省発行の「地方財政白書」から抜粋。
- ・県内平均は市平均で、千葉県発行の「市町村資料集」から抜粋。

決算審査意見書要約

成田市監査委員 福田 稔
同 石渡 孝春

平成20年度成田市一般会計・特別会計・公営企業会計の決算と基金運用状況について、地方自治法その他関係法令の規定に基づき審査した結果、決算書などの計数に誤りがなく、予算ならびに運用はその目的に沿っておおむね適正に執行されていると認められました。

○一般会計・特別会計・基金

予算の執行状況および財政運営については、総合5か年計画に基づき各事業を推進するため、事業の優先度を考慮し、合理的かつ効率的な施策が図られ、計画的に諸施策が展開されてきました。

平成20年度の決算状況は一般会計で、歳入決算額279億1,997万1,132円、歳出決算額533億5,499万384円、歳入歳出引当額(形式収支額)は、45億6,498万748円となりました。

次に、特別会計(国民健康保険ほか7会計)では、歳入決算額188億1,545万7,242円、歳出決算額182億7,674万161円、歳入歳出引当額(形式収支額)は、5億3,871万7,081円となりました。

今後の全般的な財政運営について述べるに、深刻な金融危機に直面した世界経済は大幅な減速局面となっており、企業の経営状況の悪化、雇用問題などから、厳しい状況が続く、税収の伸びが期待できず、財源の確保には一層の厳しさが求められます。

このような中、ほかの自治体と比べ恵まれた財政状況にある本市においても、都市基盤の整備をはじめ、成田新高速鉄道関連事業、新清掃工場建設事業、駅前再開発事

業などの大規模事業、少子・高齢化に伴う扶助費の増加など、普通建設事業費や義務的経費の増大が見込まれます。このため、市税をはじめとする自主財源の確保に努めることはもとより、人件費の抑制、外部委託の推進など合理化に向けた事務事業の見直しを引き続き徹底し、一層の経費削減が望まれます。また、引き続き都市経営の視点に立って、限られた経営資源を最大限に活用し、効率的な行政運営を行うために、財源の重点的配分により、さらなる市民福祉の向上と市政の発展に努力されるよう要望します。

基金については、特定目的基金18基金、定額運用基金6基金を運用し、その運用状況は、おおむね適正に運用されていると認められました。

○公営企業会計

水道事業会計の経営状況について見ると、経営成績は総収益18億3,160万9,011円に対し、総費用16億7,799万6,301円で、純利益1億3,361万2,710円を計上し、財政状態もその健全性はおおむね維持されました。また、簡易水道事業会計の経営状況について見ると、総収益2億5,169万1,799円(他会計補助金1億5,735万5,866円を含む)に

対し、総費用1億5,169万1,799円であり、その結果、収支差引額0円となっています。今後は、給水区域内の普及率の向上に努め、安全でより良質な水の安定供給に努めるよう要望します。

※くわしくは監査委員事務局(☎20-15112)へ。

平成21年度予算の執行状況

執行率は9月30日現在39.1%

市民の皆さんが納めた税金、国や県からの支出金、市債など(歳入)がどのように使われたか(歳出)を知っていただくため、市では毎年6月と12月の2回、市の財政事情を公表しています。

今回は、平成21年度上半期(4月1日～9月30日)の執行状況などについてお知らせします。

※くわしくは財政課(☎20-1512)へ。

一般会計

| 歳入 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 歳出 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|-------|
| 市税 | 306億3,757万円 | 166億3,900万円 | 54.3% | 総務費 | 107億6,429万円 | 43億2,248万円 | 40.2% |
| 地方譲与税 | 5億8,000万円 | 1億7,420万円 | 30.0% | 民生費 | 127億 666万円 | 59億1,460万円 | 46.5% |
| 地方消費税交付金 | 17億 万円 | 10億1,918万円 | 60.0% | 衛生費 | 49億1,531万円 | 16億2,643万円 | 33.1% |
| 地方交付税 | 15億1,500万円 | 13億7,463万円 | 90.7% | 農林水産業費 | 14億3,740万円 | 3億 26万円 | 20.9% |
| 分担金及び負担金 | 22億6,206万円 | 5億5,322万円 | 24.5% | 商工費 | 16億4,296万円 | 12億5,827万円 | 76.6% |
| 使用料及び手数料 | 8億4,700万円 | 3億8,637万円 | 45.6% | 土木費 | 65億5,273万円 | 13億 525万円 | 19.9% |
| 国庫支出金 | 63億3,722万円 | 13億 758万円 | 20.6% | 消防費 | 26億4,368万円 | 11億 68万円 | 41.6% |
| 県支出金 | 17億6,791万円 | 3億6,202万円 | 20.5% | 教育費 | 72億5,485万円 | 24億5,275万円 | 33.8% |
| 繰入金 | 19億1,267万円 | 5億4,947万円 | 28.7% | 公債費 | 42億2,452万円 | 20億8,785万円 | 49.4% |
| 繰越金 | 17億1,368万円 | 19億6,846万円 | 114.9% | その他 | 5億4,557万円 | 2億 886万円 | 38.3% |
| 諸収入 | 24億9,855万円 | 6億1,694万円 | 24.7% | 合計 | 526億8,797万円 | 205億7,743万円 | 39.1% |
| 市債 | 55億7,520万円 | 0円 | 0.0% | | | | |
| その他 | 12億6,264万円 | 6億 274万円 | 47.7% | | | | |
| 合計 | 586億 950万円 | 255億5,381万円 | 43.6% | | | | |

特別会計

| | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 支出済額 | 執行率 |
|------------|-------------|------------|-------|------------|-------|
| 国民健康保険(事業) | 107億7,160万円 | 49億5,455万円 | 46.0% | 46億7,597万円 | 43.4% |
| 国民健康保険(施設) | 1億4,249万円 | 6,785万円 | 47.6% | 6,115万円 | 42.9% |
| 下水道 | 21億9,508万円 | 5億3,436万円 | 24.3% | 6億2,868万円 | 28.6% |
| 市場 | 2億4,305万円 | 1億2,525万円 | 51.5% | 1億 327万円 | 42.5% |
| 老人保健 | 3,129万円 | 402万円 | 12.9% | 148万円 | 4.7% |
| 介護保険 | 41億4,468万円 | 17億2,970万円 | 41.7% | 15億9,227万円 | 38.4% |
| 農業集落排水 | 1億7,128万円 | 1,533万円 | 9.0% | 7,005万円 | 40.1% |
| 後期高齢者医療 | 6億5,808万円 | 2億7,455万円 | 41.7% | 1億5,137万円 | 23.0% |

*特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般の歳入・歳出と区別して経理するために、条例により設置しているものです。

水道事業会計

| 収入 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 支出 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 |
|-------|------------|-----------|-------|-------|------------|-----------|-------|
| 収益的収入 | 18億4,977万円 | 6億7,133万円 | 36.3% | 収益的支出 | 17億8,988万円 | 5億7,607万円 | 32.2% |
| 資本的収入 | 15億1,180万円 | 4億9,981万円 | 33.1% | 資本的支出 | 21億7,203万円 | 2億2,977万円 | 10.6% |

簡易水道事業特別会計

| 収入 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 支出 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 |
|-------|-----------|---------|-------|-------|-----------|---------|-------|
| 収益的収入 | 2億7,028万円 | 2,831万円 | 10.5% | 収益的支出 | 2億7,028万円 | 5,876万円 | 21.7% |
| 資本的収入 | 0円 | 0円 | 0.0% | 資本的支出 | 5,194万円 | 2,546万円 | 49.0% |

*収益的収入・支出とは、営業面での収支を示すもので、水道料金(簡易水道料金)を主な収入としています。

*資本的収入・支出とは、配水管の敷設や改良工事などでの収支を示すものです。

市債など

| | | | | |
|-----------|-------------|----|---------|-------------|
| 一般会計債 | 378億7,077万円 | 基金 | 財政調整 | 90億 867万円 |
| 下水道事業債 | 82億5,870万円 | | その他22基金 | 76億2,510万円 |
| 農業集落排水事業債 | 17億5,340万円 | | 合計 | 166億3,377万円 |
| 市場事業債 | 1,494万円 | | | |
| 上水道事業債 | 84億3,898万円 | 財産 | 土地面積 | 414万7,615㎡ |
| 簡易水道事業債 | 27億 510万円 | | 建物面積 | 39万7,976㎡ |

*市債とは、市が多額の経費を要する事業を行うとき、経費の一部を国などから借り入れるものをいいます。